



議会だより

あさぎ

No.32

H23.11.15発行

輝け深田魂

有終の美を飾る



深田中学校で最後の運動会

9月11日深田中学校の最後の運動会が開催されました。町民体育祭との合同開催で、いまから40年程前までは全校生徒で取り組んでいたという深中体操も復活披露されました。

みなさん、最後の運動会に名残惜しそうでした。

決算を認定……………2～5P

町政をただす……………6～11P

区長との意見交換会……………12P

常任委員会等報告……………12～13P

研修会に参加して……………14P

町の新しい風……………15P

町民の声……………16P

平成22年度決算を認定

決算審査意見書に対する 監査委員への主な質疑応答

問 国民健康保険税の問題点は。

答 健康保険税の収納率が、本町では、現年度、過年度分あわせて七十八・二%の徴収率で滞納額が多いのが現状である。

問 水道料金滞納者には「時効の援用」をしない限り債権は消滅しないというが。

答 町は、滞納者へ債務がある旨の承認をさせて、二年間の時効が成立しないよう「時効の中断」の手続きをする必要がある。

問 「債権の回収手続きに差異がある」とあるが。

答 町税は、地方税法により強制徴収ができるが、水道料金や住宅の家賃等はそれができない代わりに、裁判所の強制執行の手続きが必要になる。

主な審議内容の抜粋

総務文教常任委員会所管課

問 有価証券は、時価総額で表すべきではないか。

答 自治体会計としては、これが現状である。尚、これから公会計となると、国の動向を見ていきたい。

問 地方バス運行等特別対策補助金

千七百万二千円はどこに支出し、またバス利用者はどのくらいか。

答 産交バスに支出している。あさぎり町民の利用者は分からないが、六路線で十二万八十六人である。

問 指定管理委託料の算定は。

答 それぞれの課で若干異なるが、基本的には町の算出様式で計算し、相手方（指定管理者）と協議して契約している。

問 国勢調査の結果が出るのが遅いと感じるが。

答 確定値が三年後に出るというのは確かに遅いと思うが、個人情報保護という事から現状となっている。

厚生常任委員会所管課

問 たばこ税収は昨年よりも上がっているが、数年前に比較すると減収している。どんな原因が考えられるか。

答 各たばこ販売の業者によって納税の申告場所（町村）は違っているのでも、その移動などが考えられるが詳しい資料は手に入らない状況である。

問 ヘルシーランドと温泉交流センターとの指定管理委託料に

千三百万円の差があるが。

答 温泉交流センターには、併設されている生活支援ハウス分も含まれている。

問 ヘルシー

ランドと温泉交流センター、高山荘には指定管理委託料を出しているのに

決算では四千四百万円の剰余金があるが、今後の考えは。

答 査定をして委託料を決めているが、今後この剰余金の金額を考慮し、査定の見直しも含めて検討する。

問 いずれの温泉センターも経営は赤字である。入浴料金の値上げを考えるべきではないか。

答 それぞれの施設でも試算検討しているが、結論が出ない状況である。

問 保険給付費は県下で二十七番目ののに、国民健康保険税の町民一人当たりの調定額が県下で一番高額である。その原因究明は。

答 様々な要素があり、時間をかけないと分からない部分があるが、できるだけ急いで原因の究明をしたい。

建設経済常任委員会所管課

問 結婚対策事業の成果は。

答 現在八十五名の会員がいる。イベントを通して何組かのカップルができています。



ヘルシーランド

問 企業誘致の職種とその成果は。

答 四十七社の企業を訪問している。食品関連の企業を中心に農業参入等、色々な話を頂いている。

問 河川の除草作業の回数が少ないのは。

答 町全体では年二回の除草だが、町内全域の中で重点的な箇所を協議しながらやっていきたい。



河川堤防の除草作業

問 下水道事業を進める中で、浄化槽の設置状況は。

答 前々年、前年と計画に対して少なかったが、今年度は増加している。

問 入札監視委員会は開かれているのか。また、その内容は。

答 上半期下半期に分けて、年二回五名の委員で開いている。いずれの委員会でも問題点の指摘は無かった。

決算認定への討論

反対討論 有価証券の記載の仕方を修正しない限り反対する。

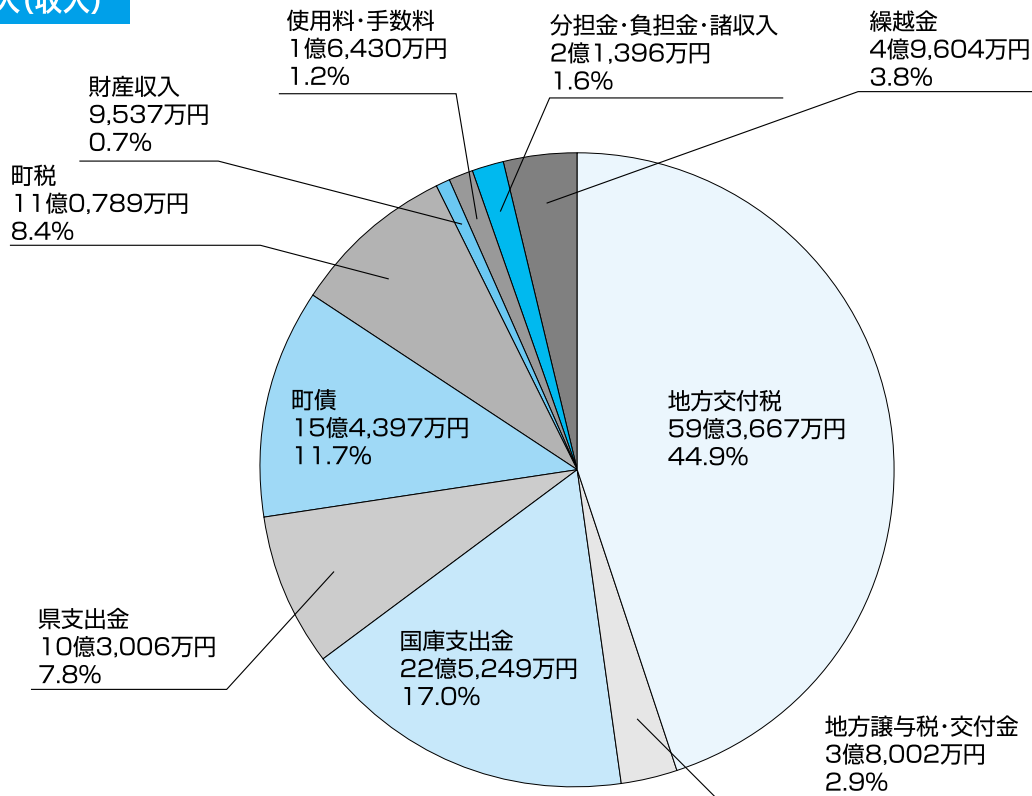
反対討論 臨時財政対策債に頼っている現状の財政運営には反対する。

第3回定例会本会議が9月6日に開会し、平成23年度補正予算、平成22年度一般会計及び特別会計の決算認定、条例改正等が提案され、いずれも原案どおり可決されました。

一般会計

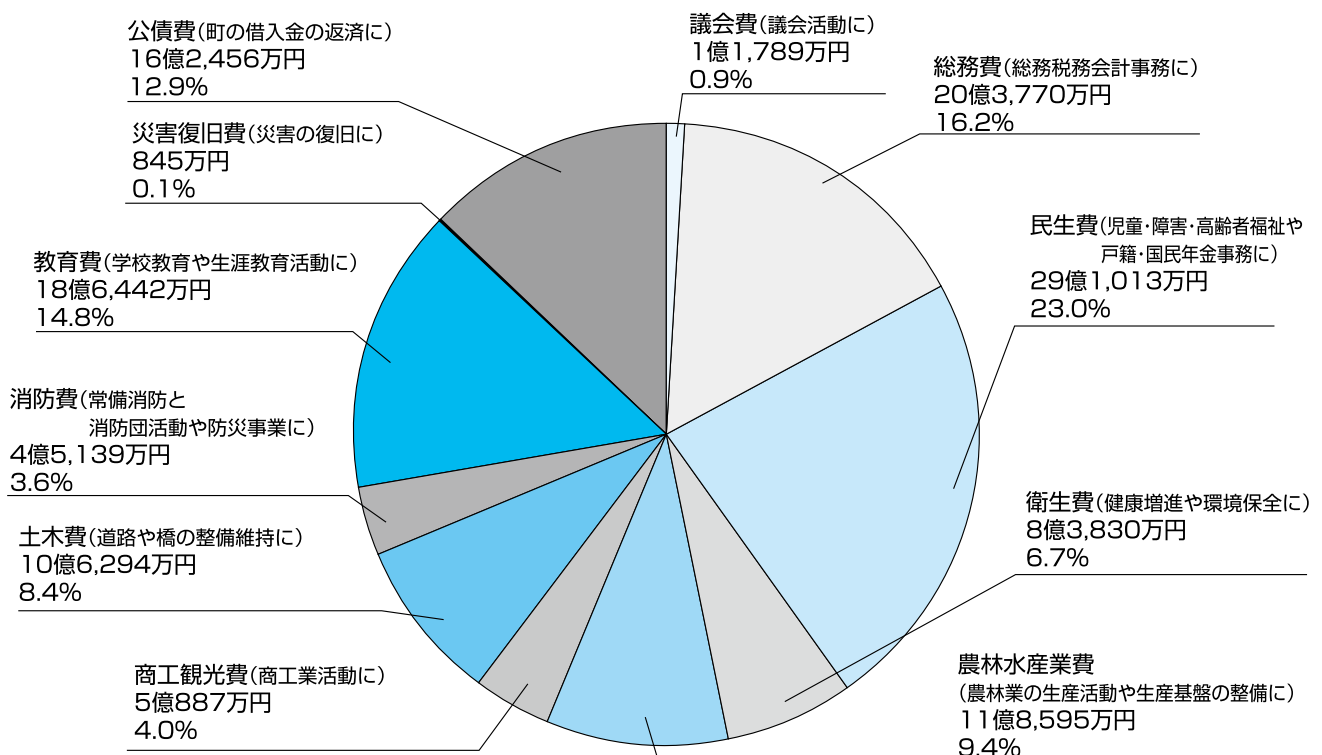
歳入総額 132億2,077万円

歳入(収入)



歳出(支出)

歳出総額 126億1,060万円



◆特別会計の決算状況

会計名	収入額	支出額	残 額
国民健康保険	24億8,011万円	22億0,256万円	2億7,755万円
老人保健医療	636万円	636万円	0円
介護保険	15億3,750万円	14億9,207万円	4,543万円
簡易水道事業	5億7,715万円	5億4,240万円	3,475万円
下水道事業	10億8,732万円	10億6,553万円	2,179万円
水道事業	7,536万円	7,204万円	332万円
介護サービス	4,286万円	3,561万円	725万円
上財産区	3,881万円	3,779万円	102万円
球磨郡障害認定審査事業	1,140万円	992万円	148万円
後期高齢者医療	1億5,722万円	1億4,506万円	1,216万円
球磨郡介護認定審査事業	3,835万円	3,215万円	620万円
合計	60億5,244万円	56億4,149万円	4億1,095万円

決算審査意見書(要旨)

平成22年度決算の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書歳入歳出決算事項別説明書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の係数は、関係諸帳簿及び証票書類の計数と符合し、いずれも正確であることを確認した。財政の健全化判断比率は、前年度に比べ全体的に改善されていることが伺える。指摘事項及び課題等についての意見は次の通りである。

①補助金

町補助金等交付要項の別表「町補助金等一覧」に補助率または補助金額の上限を定めているが、一部において定める金額を超えて支出されている。

②収納未済額への対応

一般会計及び特別会計全体としては、2,760万円の減少であるが、**収納未済額は3億3,310万円**と依然として高い水準にあることから、今後も収納未済額の圧縮を図る必要がある。

③国民健康保険税

本町の国民健康保険税は、**県内でも最も高い水準**にある。一方、一人当たりの保険給付費を見ると県内で27番目となっているため、問題点を究明する必要がある。

あさぎり町監査委員 月足茂則

あさぎり町監査委員 淵田勇一

◆9月定例議会議案表決一覧表(抜粋)

議案名	議員名	岩水	永井	桑原	野中	奥田	豊永隆	淵田	愛甲	小見田	豊永喜	田原	皆越	樫山	浦本	溝口	久保田	宮原
あさぎり町議会改革調査特別委員会の報告について		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度あさぎり町一般会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度あさぎり町一般会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成22年度あさぎり町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	注1	○	○	○
平成22年度あさぎり町老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度決算に基づく健全化判断比率の報告について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※注1：早退

(定数削減)

議員定数 16名へ条例改正

あさぎり町議会では、これまで議会改革調査特別委員会に於いて議論して来た結果、9月定例会(9月16日)にあさぎり町議会議員定数の条例の一部を改正する条例の制定についてを発議し賛成多数で議員定数18名から16名と決定。

- 一、この条例は公布の日から施行する。
- 二、あさぎり町議会議員の定数については、公布の日以後初めてその期日を告示される一般選挙までの間、なお従前の例による。(平成24年4月の任期満了による選挙から適用されます。)

一般会計補正予算

2億4,231万9千円を追加

主なもの

消防補償等組合負担金	1,710万円
工事請負費他(農道・堰他)	4,560万円
老人福祉費(地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金)	4,290万円
財政調整基金積立金	1億円
くま川鉄道経営安定化補助金他	499万円
造林委託料他	466万円

条例改正

災害弔慰金の支給等 に関する一部を改正

これは死亡者に係る配偶者・子・父母・孫又は祖父母いづれもが在しない場合であつて兄弟姉妹がいるときは、その兄弟姉妹に対して、災害弔慰金を支給するものです。

町営住宅管理条例の 一部を改正

同居親族要件が変更となるため本条例の一部を改正するものです。

水道事業給水条例の 一部を改正

これは須恵簡易水道事業の給水区域を拡張するものです。

専決処分

※税条例の一部を 改正する条例

税改正による条例改正が三月十一日の震災により専決処分されたものです。

議会改革調査 特別委員会報告

●今後の議会改革について

第二十一回を七月二十日に開催

一、最終報告へ向けての検討項目について
通年議会制度の導入について

二、執行部反問権導入について

三、議員定数、報酬等について
定数十六名。報酬については公務員給与の動向を見守る

四、議会の議決すべき事件を定める条例について

●議会報告会の今後の課題について

第二十二回を八月二十四日に開催

・九月定例会委員会報告(最終)の検討

一、通年議会制度の導入について

白老町をモデルに試行的に行う

(九月定例会、会期を十一月末日までとする)

二、執行部反問権の導入について

・議長の裁量(判断)に委ねる

三、議員定数、報酬等について

・九月定例会で条例改正案を提出

●区長会との意見交換会を開催

(九月二十三日ポッポ館に於いて開催する)

基幹産業の危機管理は

野中 進 議員

8 P

合併十周年を記念して友好都市提携を推進しては

田原健一 議員

農業振興及び活性化対策は

豊永喜一 議員

9 P

町の宝物の掘り起こしを

愛甲利孝 議員

自治体のやるべき仕事は

宮原盛幸 議員

10 P

若者が残れるための雇用を守る想いは

小見田和行 議員

高山定住促進センターの改善は

桑原武夫 議員

11 P

物産館、農産物直売所の移転は

奥田公人 議員

問 通学道路の指定は

教育長 生徒が通学路として申告する



淵田 勇一 議員

町長 現状のまま運用する。

淵田 告知放送の戸別受信機設置の考えは。

町長 現在はその規定はない。何らかの方法を考えたい。

淵田 公道以外の私道等で未舗装道路の舗装はできないか。

町長 現在はその規定はない。何らかの方法を考えたい。

淵田 告知放送の戸別受信機設置の考えは。

町長 現在はその規定はない。何らかの方法を考えたい。

淵田 告知放送の戸別受信機設置の考えは。

町長 現在はその規定はない。何らかの方法を考えたい。

淵田 告知放送の戸別受信機設置の考えは。

町長 現在はその規定はない。何らかの方法を考えたい。

淵田 告知放送の戸別受信機設置の考えは。



あさぎり中学校の増築校舎

一般質問

問 自主防災組織は

機能しているか

総務課長

機能できる組織に近づいている



永井 英治 議員

町長 九月四日に上地区で防災訓練を行った。その反省点を今後の取り組みに活かして行く。

総務課長 現在、町内五十三の地区全てに自主防災組織がある。

町長 九月四日に上地区で防災訓練を行った。その反省点を今後の取り組みに活かして行く。

総務課長 現在、町内五十三の地区全てに自主防災組織がある。

町長 九月四日に上地区で防災訓練を行った。その反省点を今後の取り組みに活かして行く。

総務課長 現在、町内五十三の地区全てに自主防災組織がある。

町長 九月四日に上地区で防災訓練を行った。その反省点を今後の取り組みに活かして行く。

総務課長 現在、町内五十三の地区全てに自主防災組織がある。

町長 九月四日に上地区で防災訓練を行った。その反省点を今後の取り組みに活かして行く。

総務課長 現在、町内五十三の地区全てに自主防災組織がある。



井上地区の訓練

町長 九月四日に上地区で防災訓練を行った。その反省点を今後の取り組みに活かして行く。

総務課長 現在、町内五十三の地区全てに自主防災組織がある。

町長 九月四日に上地区で防災訓練を行った。その反省点を今後の取り組みに活かして行く。

総務課長 現在、町内五十三の地区全てに自主防災組織がある。

町長 九月四日に上地区で防災訓練を行った。その反省点を今後の取り組みに活かして行く。

総務課長 現在、町内五十三の地区全てに自主防災組織がある。

12名が登壇

通学道路の指定は

6P 瀧田勇一 議員

6P 自主防災組織は機能しているか

永井英治 議員

7P 雇用対策事業の今後の対応は

樫山 保 議員

7P クリーンプラザの耐用年数は

浦本秀正 議員

問 雇用対策事業の今後の対応は

町長 国・県の支援事業としては微妙



樫山 保 議員

樫山 緊急雇用事業、ふるさと雇用再生事業について本年度で終了するが、これまで雇用されていた人達、又他に雇用を求めている人達も含めて今後の対応は。
町長 今、六十人程度の雇用をさせていただいている。来年以降、半分の方を雇えていけるかどうか、国・県の支援事業として微妙なところだ。
農林振興課長 ふるさと雇用再生事業の農業再生チャレンジ事業で四名程度、山の幸開発事業で八名程度雇用したい。緊急雇用の二十四年度継続は町単独では難しいと考えている。
商工観光課長 ふるさと雇用七名、緊急雇用三名



町道の整備

で今のところは希望している。
教育課長 教員補助の職員の方を継続して雇用したい。
建設課長 町の財政的なところで可能であれば続けていく。
樫山 五十歳位までの壮年人材センターというのは出来ないか。
町長 可能な限り国・県の支援をいただくことを要望していく。町としても相当真剣に、総合的に考えていくべきと思っている。

問 クリーンプラザの耐用年数は

町長 二つの目安として十五年間



浦本 秀正 議員

浦本 あさぎり町の塵芥処理費は負担金を合わせ年間に二億六千九百万円を超え、全体の十五%を人吉球磨クリーンプラザに運んでいる。今後は厳しい財政状況、交付金の減額も予想されるが。
町長 ごみの処理費の削減は今後町の大きな取り組みの一つ。ごみの分別を徹底したい。処理場の修理費用も年間一〜二億円となるので持ち込みを減らし負担金を減らしたい。
浦本 クリーンプラザは約十年前百七億円程で建設され、毎日九十トン焼却しているが施設の耐用年数の予測は。
町長 一つの目安として十五年で、立地の場所も地域の人々と



吉井リサイクルセンター

も協議がされており、納得して今のところで問題なく稼働できるのは使用開始後十五年です。
浦本 隣町では竹を活用してパウダー状にして生ゴミと混ぜて堆肥を作り、農地に還元している。
町長 生ゴミ減量化は徹底して取り組むみたいので調査検証してみたい。
その他の質問
・子育て支援について

問 基幹産業の危機管理は

町長 緊急連絡網の整備と活用の実施



野中 進 議員



酪農家の畜舎

野中 昨年宮崎に発生した口蹄疫が町内で発生した場合、当該農家との連絡、情報交換はどのように

対応しているのか。

町長 対象農家については緊急連絡網の整備をし、いつでも対応出来るようにしている。

野中 電話等での連絡は、どうしても聞き違い、

勘違いが発生しやすいと思う。

農林振興課長 緊急な場合にはファックスで対応する。

野中 早期発見、通報及び迅速・的確な初動、埋設、特に埋設地は四メートルの深さが要る。地下水の心配は。

農林振興課 掘ってまで調査していない。

野中 我々も実際に体験された農家、市役所等で研修会ができたらと考えてるが。

町長 有志の皆さん等で計画して頂ければ、一緒に職員等を含めて行かせて頂きたい。

問 合併十周年を記念して

友好都市提携を推進しては

町長 検討してみたい



田原 健一 議員

した。この職員を中心に記念事業に向けた取り組みを具体的に検討していく。

田原 町民の心を一

田原 合併十周年を迎えるにあたり、町の発展につながる事業を計画しては。

町長 懸案の統合中学校も来年スタートする。町

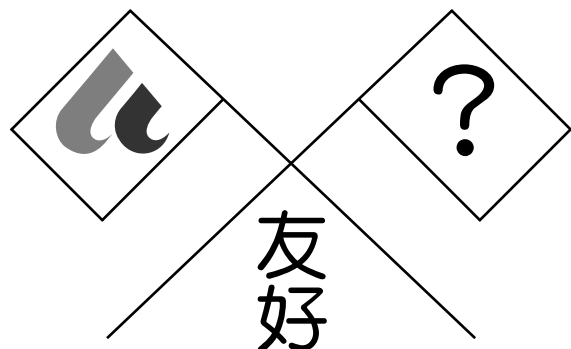
民の皆様も合併十周年を機会にいろいろと町の動きが変わってきたと感じていただけたと思う。八月一日から政策推進室を設置し、職員二人を配置

つにできる音頭、あるいは町歌を十周年において披露目できるようにしては。

町長 十周年記念行事に間に合うように進めている。

田原 友好都市提携についての考えは。

町長 韓国、中国あたりも視野に入れ、国内での友好都市ができな





豊永 喜一 議員

問 農業振興及び活性化対策は

町長 農業の活性化を最優先に考える



物産館内の加工場

豊永 基幹産業の農業活性化の具体的取組みについて（新規就農支援、経営規模拡大、農業法人化への側面的支援、食品加工工場、新規販売ルート構築、町のHPでの宣伝・販売）どう考えておられるか。

町長 農業に対しては大きく六項目掲げてきたが、仕事の場の確保、人材及び後継者の育成、安全安心なブランド化等、非常に大きな取組みと考

- ・ 担い手の支援について
- ・ 耕作放棄地の解消対策について
- ・ 六次産業化の現状と課題について

問 町の宝物の掘り起こしを

町長 大事な取り組みと想っている

愛甲 三月十一日、東日本大震災がおきた。大災害の後で、私たちの郷土は、四方を山々にとりかこまれて豊かな水と農地に恵まれていた地域だということに改めて気付かされた。

この球磨の地を訪れたあの司馬遼太郎も「日本における弥生式農耕の最古の適地のひとつだった」とのべている。

これにどう取り組んでいくか。

町長 地元の自然、文化財、先人たちのことをしっかりと知ることは、大事な取り組みと想っている。私もビハ公園からの白髪岳にも登ってみたい。

の中に生かしていく。具体例をあげて質問したこと

教育長 小学校の副読本の中で、あさぎり町のことをまとめて、学校教育

- ・ 白髪岳原生林（自然環境保全林）のこと
- ・ 町内にある相良三十三観音さんのこと
- ・ 須恵出身の長野文治軍医監のこと



愛甲 利孝 議員



宮原観音（岡原）



宮原 盛幸 議員

問 自治体のやるべき仕事は

町長 社会資本整備、サービスを提供する事



廃油利用のディーゼル化事業

宮原 私は自治体のやるべき仕事は住民の皆様より税金を徴収し、それを有効に無駄のないように分担しサービスを提供することと考えているが、町長はどう考えておられるか。

町長 私もビシッと税の徴収等を行い社会資本の整備とかサービスを提供する事が町の行政の基本と思っている。

さらに産業振興、雇用確保のため努めなければならぬ。

宮原 社会資本の整備等はいまでもないが、給食センター廃油のディーゼル化事業は業者の方に補助してでもやってもらうべきものであり町がやるべき事業ではないと主張したが、町は実施した。その後どうなったのか。

企画財政課長 給食センターの食用油の産業廃棄物を軽油化して公用車に使っている。役場職員の製造に係る時間もあるが1ℓ四十八円、五ヶ月間で二万円の前減、CO₂の四百九十三kgの前減の試験結果が出ている。

その他の質問
・ギョーザ事業について
・特別交付税について

問 若者が残れるための雇用を守るための

雇用を守る想いは

町長 現在の生活を維持できる

取組みを図りたい



小見田和行 議員

地元業者育成に向け指名競争入札で配慮しているつもりである。

町長 行財政改革も進めていかねばならないが、町民の現在の生活を維持できる取り組みをまずは基本的にやってみよう。

小見田 公共工事減少、景気低迷、建設業の県のランク見直し等で業者の方々も就業日数も減り、経営的に苦慮されている。町発注工事も、分離発注等で地元中小業者受注の機会を増やす配慮はされているか。

副町長 分離発注はコスト高であり効率的なのは一般競争入札であるが、

JA等との連帯強化が望まれるが、JAと行政の農政へのかかわりをどう

考えておられるか。

町長 JAとは向き合いながら協力していく。大量の農産物はJAに、少ない量はネット販売等、別ルートについては行政支援も必要と思う。



次代をになう青年達

問 高山定住促進センターの改善は

町長 活性化すべき拠点

として位置づけたい

桑原 深田地区はスポーツと歴史ゾーンであり、高山運動公園においては町内はもとより郡外から

体育施設利用者が多く、合宿を兼ねた団体も多く来られる。この高山には

定住促進センターがあり、地域住民の社会活動の拠点として多目的な事業に利用されてきた。現在では町内はもとより、

県外からの利用される団体、また部活動の研修の場として使用されている。この定住センターを、今後スポーツ活動の



桑原 武夫 議員



高山定住促進センター

振興と青少年健全育成を目的とした宿泊施設に改善する考えはないか。

町長 深田をどういふふうに活性化していくか、高山周辺の運動場、体育館、定住センター温泉施設、又、高山も近くに控えている。あれだけの施設が集中しており、体育館周辺の駐車場を整備して

振興と青少年健全育成をきた。深田地区の一つの活性化すべき拠点として私は位置づけていきたいと思っている。

・農業用排水路整備は
・中山間地直接支払い
制度は

その他の質問

問 物産館、農産物直売所の移転は

町長 物産館の移転は考えていない



奥田 公人 議員

奥田 物産館、農産物直売所の移転はできないか尋ねる。

生産者の人達は、物産館の売り上げを伸ばすには販売所の移転しかない、国道二一九号線沿いに移転する事を強く希望しておられ、免田地区黒田の二一九号線沿いに、テントを張り農産物を販売されたが、うまくいかなかったようで経営を断念されている。私はちゃんとした施設で安心して直売できるシステムを作るべきと思うが如何か。

町長 国道筋の黒田の方で、店をテントで構えて販売を開始された。私もあの取り組みで、どういふふうに進んでいくのかなと、かなり関心を持ってみていたが、仮の施設であったこととか、品揃えとか、色々あって半

年近くで、閉鎖された。物産館を国道筋に持つていくためには相当な費用が伴う。総合的に国道筋に物産館を持つていくのはもうやめた方がいいんじゃないかと私は思っている。

その他の質問
・アンテナショップの設置について



物産館直売所(上)

区長との意見交換会

九月二十二日午後三時より、ポッポー館において、区長と議会議員との意見交換会を実施しました。区長からは四十五名出席され、議会からは十八名の参加がありました。そこで発言された主な内容



区長さん方との意見交換会

容について報告致します。

先ず、議会からの報告（六月及び九月定例会内容について）があり、次にあさぎり町の議会改革について（特別委員会報告）があり、議会からの報告・説明に対する区長会からの質疑・意見を伺いました。

議会改革調査特別委員長の報告の中で

- (一) 通年議会制度の導入について
 - (二) 執行部の反問権導入について
 - (三) 議員定数、報酬等について（定数十六名。報酬については公務員給与の動向を見守る。）
 - (四) 議会の議決すべき事件を定める条例の制定について等
- の説明がありました。区長会

からの質問として、「区長会では十四名の議員数が適当ではないかとの意見が強かったが、どういう理由で十六名に決定したのか。」との意見があり、議会からは、「人口一千人に一人の議員が適当と言う考えの中で議決された。」又、「議会活動の中で三つの委員会があり、議員定数が極端に減少すると委員会活動に支障を与えかねない。」との答弁がありました。その他の質疑・意見交換では、「町長、副町長、教育長の報酬カット、議会議員の報酬を考えて欲しい。あさぎり町保育所を民営化にしてはどうか」などの意見があり、大変有意義な中に終了しました。

総務文教委員会

常任委員会等報告

七月五日に、町内五中学校を訪問し授業内容や学校施設等の確認を行いました。各校とも閉校までの最後の年度、学力アップの熱心な指導がなされていると見受けました。

八月二十四日、国民健康保険医療費の現状と国民健康保険税の負担率について調査しました。一人当たり医療給付費は中位だが国民健康保険税率は県内最上位であることとの問題点の追求と改善に向けた対策の必要性を確認しました。

同日、消防施設の整備と消防団の活性化対策及び常設消防の広域化についても調査しました。



町内中学校の授業参観

厚生常任委員会

① 国民健康保険医療費と保険税について

平成十六、十八、二十、二十一年と税率が改正され、保険税は県下で最も高くなっています。担当課として徴収率を上げるための努力をし、その成果は上がっていますが、国保事業の運営は引き続き厳しい状況にあります。

② 特別老人ホーム「りゅうぎんか」訪問

全室個室で、定員は長期入所二十九人、短期十人。地域密着型で、あさぎり町の方が優先的に利用できます。



「りゅうぎんか」訪問

③ 子ども医療費無料化の検証

施行前（就学前）の十九年度と二十二年度を比較すると、扶助費は

約二千八百万円の増加、百六十五％の伸びです。この制度の認識度が高まり、受診件数が増えたことに尽きますが、特に小学生の歯科診療に占める割合が大きく伸びています。

建設経済常任委員会

八月二十五日、午後三時より閉会中の継続調査二件、農業法人設立並びに耕作放棄地解消対策について農業委員会との合同会議も実施した。

「集落営農組織を法人化するの難しい。町としての様な法人化が考えられるのか示してほしい」等々の意見が出されたが法人化に向けての理解はいただいている。執行部としても具体的取り組みを早急に示すべきである。

耕作放棄地

解消には、農業委員会の活動はかかせない。今日迄の



農業委員会との合同会議

活動は郡市の中でも大変活発であるが、執行部においては、その活動評価が低い。

あさぎり町の農業委員の報酬は郡市でも非常に低い。見直すべきである。

球磨郡公立多良木病院 企業団議会議案

平成二十三年第三回定例会は、九月二日に招集され会期一日で開催された。

議案については決算認定五件の、五議案いずれも原案どおり認定された。平成二十二年年度決算については、病院事業、老健事業及び健診事業会計は、前年度に引き続き黒字決算となった。

総収益四十三億八千五百二十一万六千六百三十七円の決算額に対し、総費用四十二億九千八百七十六万一千三百九十一円の決算額で八千六百四十五万五千二百四十六円の当年度純利益を計上できた。

人吉球磨広域行政組合議会議案

平成二十三年八月二十三日、第三回定例会が開かれ、まず議長選挙を行い議長長谷口徳太議員（湯前町）を選んだ。

議案は第十七号が組合の財産処分、第十八号と十九号が一般会計と特別会計の補正予算で原案可決。認定第一号から四号までが平成二十二年年度の一般会計と特別会計の決算認定で、いずれも認定した。他に報告二件、また平成二十二年年度決算認定特別委員会を設置し閉会した。

川辺川総合土地改良 事業組合議会議案

第二回川辺川総合土地改良事業組合議会在八月三十一日、開催された。四月の地方統一選挙後の初議会ということで、不在になっていた正副議長に人吉議会議選出の田中哲議員、多良木町議会の山中馨議員を選出しました。

議事では、平成二十二年川辺川総合土地改良事業組合歳入歳出決算を原案のとおり認定しました。歳入総額四千二百三十一万五千八百五十六円、歳出総額三千四百二十五万八千五百六十六円、差引残額八百六十四千円。

二十三年度の補正予算も原案のとおり可決しました。補正額は歳入歳出共にそれぞれ六百六十四千円です。

新人議員研修会に参加して



野中進 議員

七月二十五日、熊本市桜の馬場城彩苑多目的交流施設で行われた新人研修に、参加しました。

主催者で「創造くまもと代表理事」の木村仁氏の挨拶に始まり、熊本県立大学教授桑原隆広氏による「市町村行財政当面の課題」の講演、午後からは東京大学名誉教授大森彌氏による「分権化時代と市町村議会」の講演があり、分権下の新たな町村議員像として、何よりもまず民主的自治制度において議会が全ての根幹であることをしっかり認識し、またそのことを改めて欧米の歴史の流れと現状から学び、町村議会活性化に役立てる真摯な態度が望まれる。また世の中の動きが早まるなかで先例や慣行にとらわれることなくチャレンジ精神を堅持すべき、選挙年齢を満十八歳以上に下げ

る。また、議員定数においては削減を是とする風潮は議会制民主主義を危うくし、常任委員会制度を中核とする議会運営を困難にするもので本来は所属すべきでないといわれる議長も人数不足から多くは加わらざるをえなくなっている。それから一般質問の活発化のため、事前通告制の廃止、一問一答方式の採用、対象の範囲の拡大。関連

質問の承認等々… 続き最後には町村議会には、長や職員、さらには住民と一致協力して、まちむらづくりをこれまで以上に強力に推進することが求められる、という大森氏の講演にとっても

共感ももてた。その後も「全国町村議長会事務総長」高田恒氏の講演が十七時までと盛りだくさんの内容で、自分のスキルアップに繋がった、実のある研修となった。



豊永喜一 議員

県内市町村の新人議員を対象とした民間主催の勉強会が七月二十五日、熊本市の城彩苑多目的交流施設で行われ、参加致しました。



大森教授による講演

まず、最初に主催者の一般財団法人「創造くまもと」代表理事の木村仁前参議院議員が「名古屋

屋市や大阪府、以前の阿久根市はじめ、議会の存在意義が公然と批判される中、首長と議会が対等の

立場で協力とけん制をし合う本来の関係を築いていかなければならない」と意義を強調されました。次に県立大学桑原隆広教授により「市町村行財政の当面の課題と議会」を題として講演に入りました。

まず、日本国憲法と地方自治、国会と地方議会、地域分権改革と地域主権改革について、基本的なことからこれまでの歴史的経緯をわかりやすく説明がありました。

続いて「社会保障と税の一体改革」について、高齢化が進行する中、必要な社会保障の機能強化を実施するとともに、社会保障給付の安定財源を確保し、財政の健全化を達成しようとするものであるということでした。

今後もこういう勉強会に積極的に参加し、地域づくりに向けて頑張っていきたいと思えます。

町の新しい風



都会向け宅配野菜箱詰作業

NPO法人 あすなりネットワーク

NPO法人あすなりネットワーク(理事長・西木明幸さん)では、都会向け宅配野菜の箱詰め作業を受託しておられます。あさぎり町産の旬の野菜、山菜などを中心に米、農産物加工品、特産品など、週に3回、注文に応じて発送されています。メンバーは、身体障がい者、知的障がい者、その家族など13人と、2人のスタッフで構成されています。

この会は、あさぎり町誕生もなく、障がい者の集いとして活動してこられていたものだそうです。研修旅行などをやって来ておられたということです。昨年の7月に、働きたくても働けない人のために、「あすなりの丘ファーム」(施設長・遠山幸穂さん)をオープンしておられます。

今年の4月からはあさぎり町の障がい者自立支援事業に基づく「地域活動支援センターⅢ型」に認定されておられます。

それぞれの障がいに応じた作業(仕事)を提供することで、自分の新たな可能性を見出してもらい、自立のきっかけにつなげたいということです。

また、子どもから高齢者の方まで、地域の人たちとの相互交流を深め、障がいの事を正しく理解してもらいながら、新たな「公共」づくりを目指しているということでした。



宅配野菜の箱詰め作業



野菜作りにも挑戦中

議会ひとくちメモ 13

臨時財政 対策債とは

臨時財政対策債とは、国が地方交付税を算定交付する中で生じた財源不足分を、地方で起債(借金)してよいですよというものです。

これは、後年度、地方交付税で全額国がみてくれることになっていきます。いわば地方交付税の前借りみたいな性格のものといわれています。

この臨時財政対策債の発行の是非については、専門家の間においても議論がわかれているところです。

あさぎり町の臨時財政対策債の残高は二十二年度末で四十四億八千万円にのぼっています。



町の声



須恵・寺池
恒松慎治

若い夫婦向けの住宅を

現在私は、須恵小学校PTA会長の職を仰せつかっております。運動会、資金活動、全校児童に呼び掛けての栗拾い等、半年が経ち大きな行事も各会員のご協力のお陰で無事行うことが出来ました。

全校児童62名と少数ですが皆礼儀正しく、元気で素直な子ども達で大変誇りに思っています。さて、この様な小学校ですが、今、大変重大な問題に直面しています。それは、「複式学級」と言う問題です。来年度の新2、3年生が合わせて16名となり、規定により複式学級となってしまいます。一度、複式学級になってしまうと、児童数が増える事は難しく、減少の一途だと言う事を聞きます。PTAでは、編入可能な児童、入居可能な住宅等の情報収集を学校と共にを行っています。その中で、空き住宅の少なさを痛感しています。「住む所が有れば、考えたい」と言う声も聞きます。そこで、町、議会に、若い夫婦向けの住宅の提供をお願いしたいと思います。学校の衰退が地域の衰退とならないように。



免田・吉井
井手永愛

部活動に期待する

私には、中学2年生、小学6年生、小学2年生の子どもがいます。来年4月のあさぎり中学校開校では、新3年生、新1年生としての入学となり大変楽しみにしています。

中学2年生の娘は免田中最後のバレー部員として、各大会に向け毎日練習に一生懸命にがんばっています。

あさぎり中学校開校については、学校説明会や色々な資料等で理解はしているつもりですが、開校後の部活動がどうなるのかなど、娘も私も多少不安に思っているところです。新3年生になり、中体連まで約3ヵ月の間、先生やコーチが代わり部員も増え、とまどったまま中体連を迎える事のないように、今私達保護者ができる事がないか考えてみました。まず、現在5つの中学校に声をかけ、保護者会や合同練習会、親睦会等が出来ないか考えています。子ども達の気持ちを考えると、今は各校ライバルとして戦っていますが、4月からは同じチームメイトとして一丸となり、最高のチームでプレーができれば、保護者としてもとても喜ばしい事と思います。

子ども達と私達の不安を取り除いて、より良いあさぎり中学校の開校を望みます。

編集後記

四方の山々も彩りを深め、平地では稲穂のじゅうたんが黄金色に波打って、すっかり秋の気配が深まって参りました。

今回の議会だより「あさぎり」は第三回定例会についての記載になります。あさぎり町議会では、議会改革特別委員会で定数削減を図り、定数十八名から十六名に改正致しました。議員も自ら議会改革を推進して町民の皆様のご期待に添える様努力しております。

今後も町民の皆様と英知を集結しあさぎり町発展を目指して頑張りたいと思っておりますので皆様方のご理解とご協力を賜ります様お願い致します。(奥田)

編集・発行責任者

広報調査特別委員会

- | | | |
|------|----|-----|
| 委員長 | 愛甲 | 利孝 |
| 副委員長 | 皆越 | てる子 |
| 委員 | 榎山 | 保 |
| 委員 | 奥田 | 夫人 |
| 委員 | 桑原 | 武夫 |
| 委員 | 永井 | 英治 |

発行／あさぎり町議会 編集／議会広報調査特別委員会
〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎり町上北1855番地
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265
E-mail syoki-gikai@town.asagiri.lg.jp